

「住民の安心・安全」は先送り、「受け入れ」先行に住民は憤り!!

「府民の会」
が見解

京丹後市長の「受け入れ」10項目条件で 「住民の安心・安全」は確保できるのか？

「住民の声」無視、先に「受け入れ」あいさ!

8月1日、府庁内で山田・京都府知事と中山・京丹後市長は会談を行い、中山市長は、「住民の安心・安全について(10項目)政府がしっかり対応するなら、必要な協力はできる」「国益に協力するのは道理だ」と、事実上の受け入れの表明をしました。

山田府知事も「総理と米大統領が決定した防衛の問題に、自治体が口を出すのは違う」「一番尊重すべきは京丹後市の意見だ。きちんと対応したい」と述べました。

しかし、そもそも、この米軍レーダー基地がどういうもので、それを設置したらどうなるのかということが、未だに明らかにされていません。米軍の居住地をどこにするのか、あるいはレーダー照射の影響などについても、まともな回答はありません。

国(防衛省)は、根拠を示さず、抽象的な答えしかしていません。7日に開催された住民説明会や8日に開催された全員協議会でも、地元住民の安心・安全の不安は解消されていません。

府知事や京丹後市長の「受け入れ」見切り発車は、住民の意見を無視した本末転倒の表明といわねばなりません。「住民の安心・安全」というなら、それを徹底的に追求するのが知事や京丹後市長のとるべき姿勢ではないでしょうか。

「10項目の条件」の問題点は… これで「住民の安心・安全」は確保できるのか?

京丹後市長は、「受け入れ」を前提の条件として、①事件・事故の発生や健康・環境への被害の恐れがある場合の責任ある対応、②生活・産業に対する影響への対策、③日米地位協定の見直し検討など、10項目(別紙)を挙げ確認を求めています。

米軍基地設置そのものについては、「日本環境管理基準」JEGS(Japan Environmental Governing Standards)に適合しているかの評価や車力基地やアメリカ本土の調査を行うことが必要です。

府の「参与会」は「問題がない」旨の報告をしていますが、防衛省からの具体的なデータが示されていないことから、実際にどれだけ強い電磁波がどのように出されるかは、軍事機密であり、報告は推測の域を出ていません。

水問題では、なぜ50トンの水が必要なのか、どう使われているのか、1日5万リットルとされる水の必要量について使い方を明らかにし、車力の米軍レーダー基地での水質データも提示すべきです。

飛行制限区域についても、ドクターヘリや救難ヘリの運用に関わって、「緊急停波」する場合の手順や具体的な確認書など、提示すべきです。

「地位協定の見直し」では、政府・防衛省がいくら約束しても、この間の沖繩をはじめとする米軍基地の現状をみれば、もはや



●京都府知事と京丹後市長の「受け入れ」協議に抗議する府民の会のアピール行動(8月1日・府庁正門):京都平和委員会・写真提供

「地位協定」そのものが問題となっており、まったく信用ならないことは明らかです。

京丹後市長は、府知事に対し、安全・安心のための警官配備を要請し、府知事も丹後への警官増員を検討すると約束しています。

「地位協定」で、守られるのは住民ではなく米軍

しかし、警察の警戒対象は主として住民であり、米兵ではないことは明らかです。基地の中は治外法権であり、基地の外でも「公務中」として免責され、日本政府は何も手出しをできません。犯罪・事故において、どのような賠償がなされるのかも、明らかではありません。

警察は、主として米軍基地とその要員を守るために増員されることとなります。

政府・防衛省のいいなりではなく、米軍基地を設置しないことこそ、住民の安心・安全を確保できるのではないのでしょうか。

京丹後市長のXバンドレーダー受け入れのための10条件(要旨)

●京丹後市長が京都府知事に示したXバンドレーダー受け入れのための10条件(要旨)は、以下の通り。

- 【1】事件・事故防止努力と、健康・環境被害への適切な措置
- 【2】電波強度の実測と無害の検証
- 【3】騒音レベルの調査と騒音対策
- 【4】排水の環境影響調査と必要な措置
- 【5】民生安定、生活環境、産業振興、環境整備、住民福祉等への支援
- 【6】水供給への万全の措置
- 【7】米軍施設場所選定の適切な手続
- 【8】道路の拡幅と新設
- 【9】(日米地位協定の見直し検討の要請)米軍関係者による事件・事故等が発生した際の刑事裁判手続きに関し、日米地位協定における米軍人・軍属に対する裁判権の行使に関する運用について住民不安の解消のため絶えざる改善に努めること。
- 【10】(その他全般)これまでの国側回答の誠実な履行

「府民の会」

街頭署名・宣伝行動

とき 8月23日(金)

午後5時30分～

ところ 四条烏丸

8月23日、「府民の会」は、四条烏丸で街頭署名宣伝行動を行います。この間の宣伝では日増しに街頭署名も増え、「海釣りで良く行く」というオジさんがや「知らなかった」というサーファーの女性や高校生も署名に応じていただいています。

多くの団体・個人からのご参加をよびかけます。



「府民の会」

9.17 府庁東門・街頭演説 昼デモ

とき 9月17日(火) 12時～

ところ 府庁・東門集合



「京都に米軍基地いらない府民の会」第2回代表者会議



とき 8月29日(木) 午後6時30分～

ところ ラポール京都 第9会議室

●この間の経過と現在の情勢の局面について、交流し、9月からのとりくみの意思統一をはかります。

次回・署名集約 8月末

引き続き 要請FAX・署名を強めよう!!